

科目ナンバリング		U-LAS05 20035 LJ31							
授業科目名 <英訳>	東南アジアの政治 Politics in Southeast Asia			担当者所属 職名・氏名	東南アジア地域研究研究所 教授 岡本 正明				
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	地域・文化(各論)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・前期		曜時限	火3		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
<p>深刻な地球温暖化、ロシアによるウクライナ侵攻、中国の台頭、急激なデジタル化など、我々は今、大変革の時代に生きている。このような時代にあって、日本がどのような国際関係を築き、また、日本が望むような国際環境を作り上げていけるのかは極めて重要な課題である。そうしたなかで、これまで以上に東南アジアの地政学的・地経学的重要性が増している。というのも、東南アジアは世界的に見ても高い経済成長率を維持しており、デジタル化も日本を凌駕する勢いだからである。本授業では、この東南アジアの政治、国際関係を理解するために、重要なテーマ別に検討していく。講義だけでなく、グループワークによる発表も組み込んでいく。選挙、成長、汚職、文民統制、デジタル化、紛争、環境破壊、ジェンダー、地域統合、日本と東南アジアといったテーマである。主に扱う時期は、日本と東南アジアが新たな関係に入り始め、対等なパートナーになりつつある21世紀とする。学生にとっても、日本に滞在する東南アジアの人々が増え、ますます東南アジアが身近になってきている。その意味でも、本授業を通して、東南アジアのダイナミズムを理解することは必須である。</p>									
[到達目標]									
<p>東南アジア諸国が現在抱える政治的課題を理解し、そうすることで、日本の政治が抱える課題もわかるようになる。また、日本と東南アジアの関係を理解することで、日本を取り巻く国際環境を理解し、東南アジアとの関係の地政学的・地経学的重要性を理解することができる。また、グループワークによる発表のやり方も学べる。</p>									
[授業計画と内容]									
<p>次のような流れで講義を進めていく。ただし、進行具合により変更の可能性がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．世界の中の東南アジア 2．東南アジアの国家の特徴(20世紀まで) 3．東南アジア社会のダイナミズム(20世紀まで) 4．日本と東南アジア(20世紀まで) 5．政治体制と選挙 6．成長と分配の両立可能性 7．司法の独立と汚職対策 8．政軍関係と文民統制 9．政治のデジタル化 10．民族・宗教紛争の危機 11．ジェンダー平等とLGBT 12．環境と政治 13．ASEANが作るアジア 14．日本と東南アジア：対等のパートナーへ？ <p>< 期末試験 ></p> <ol style="list-style-type: none"> 15．フィードバック 									
----- 東南アジアの政治(2)へ続く -----									

東南アジアの政治(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

授業への参加・レポート提出が30%、期末試験が70%

[教科書]

岡本正明・大庭三枝・中西嘉宏 『現代東南アジア政治』（法律文化社、2025年）

[参考書等]

（参考書）

山本信人編著 『東南アジア地域研究入門3政治』（慶應義塾大学出版会）

川中豪・川村晃一編著 『教養の東南アジア政治史』（ミネルヴァ書房）

高木佑輔・伊藤亜聖 『新興アジアの政治と経済』（放送大学教育振興会、2023）

[授業外学修（予習・復習）等]

教科書や参考文献を使いながら予習・復習をしてください。

[その他（オフィスアワー等）]

面談希望者は、okamoto(at)cseas.kyoto-u.ac.jpに連絡をしてください。(at)を@に変えてください)。

[主要授業科目（学部・学科名）]